

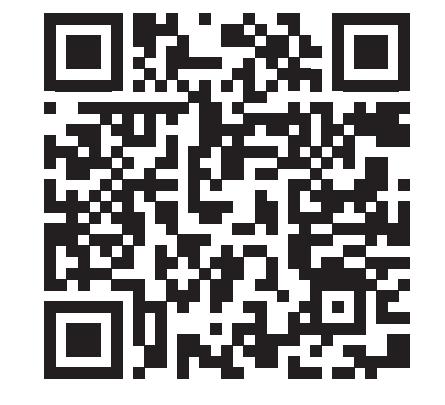
法務省では、
法教育の普及・推進に
力を入れています！

生きるチカラ！



法教育

法務省ホームページ
法教育ページ



法教育とは…

法律専門家ではない一般の人々が法や司法制度、これらの基礎となっている価値を理解し、法的なものの考え方を身に付けるための教育です。

法務省では、学習指導要領を踏まえた学校教育における法教育の実践方法など、法教育の推進の在り方について多角的な視点から検討を行うとともに、法教育の普及・推進に取り組んでいます。

- × 法律の条文や法制の内容について記憶させる、知識型教育
- 法の背景にある価値、法やルールの役割・意義を考える思考型教育

法教育が目指すもの

法教育では

- ① 社会の中でお互いを尊重しながら生きていく上で、法やルールが不可欠なものであることへの理解を深める
 - ② 他人の主張を公平に理解し、多様な意見を調整して合意を形成したり、法やルールにのつとった適正な解決を図ったりする力を養う
- を通じて、自由で公正な社会を支える人材の育成を目指しています。

法教育の主な内容

- 法やルールの意義・役割、より良いルールの作り方
- 契約自由の原則など私法の基本的な考え方
- 個人の尊重、自由、平等などといった法の基礎となっている基本的な価値
- 司法の役割や裁判の特質

➡ **日常生活における身近な問題を題材とし、児童・生徒の成長、発達に応じた、小学校、中学校、高等学校を通じた法教育を実施**

法教育マスコットキャラクター

ホウリス君

僕がみんなの学校に行って、
一緒に考えるよ！



「法教育」を感じていただけるよう、公募により法教育マスコットキャラクターに選定された「ホウリス君」です。名前の由来は、ホウリツ（法律）とリスを合わせたものです。学校でいろいろないざこざがあると、どこからともなく現れて、問題を一緒に考えてくれます。

法教育と法遵守の文化の醸成

1 日本における法教育の取組

我が国の社会の変化

1990年代～

構造改革への取組

- ・「事前規制・調整型の社会」から「事後チェック・救済型の社会」への転換
- ・自由な活動から生じる様々な紛争を法に基づいて公正に解決する必要性

国際化の進展

- ・様々な文化的背景や価値観を持った人々の間での交渉が日常化
- ・今まで以上に透明なルールによる紛争解決の必要性

司法の果たすべき役割の拡大

司法制度改革～「国民に身近で、速くて、頼りがいのある司法」の実現～

2000年代～

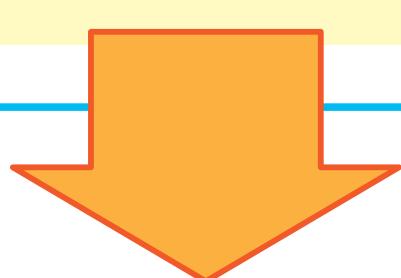
司法制度改革の3つの基本理念の一つとして「国民的基盤の確立（国民の司法参加）」が掲げられ、裁判員制度を導入することとされました。

その実現のための条件整備の一つとして、司法に関する学習機会を充実させることとされました。

司法制度改革推進計画（平成14年（2002年）3月19日閣議決定）

司法教育の充実

「学校教育等における司法に関する学習機会を充実させるための方策を検討し、所要の措置を講ずる」



法務省における法教育の取組

2003年～

- ・法教育推進協議会における検討
- ・法教育指導用教材作成
- ・出前授業の実施 等

法遵守の文化の醸成にも寄与

教育改革～「生きる力」の育成～

2002年～

- ・自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成
- ・国家・社会の形成に主体的に参画する日本人の育成 等

2 日本における法遵守の文化の醸成

「法遵守の文化」とは？

国民が、一般に、法及びその執行が公正・公平であると信頼し、それゆえ、これらを尊重する文化のことです。法遵守の文化は、法の支配を促進させる重要な要素の一つであり、日本では、家庭教育、学校教育、地域社会の活動を通じて、法遵守の文化が根付いています。

家庭教育では

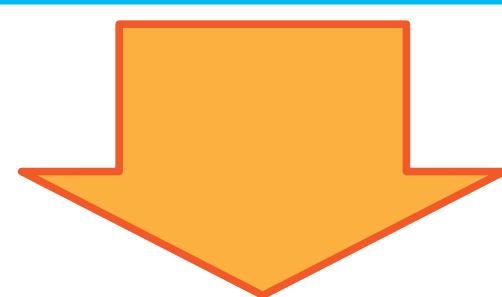
- ・「約束」や「ルール」といった決まり事を守ることの大切さを幼少期から教育することを重視

学校教育では

- ・児童生徒の知・徳・体の調和のとれた発達を旨とし、社会で求められる資質・能力を全人的に育んでいく中で、児童生徒の規範意識を醸成
- ・児童生徒の成長段階に合わせ、「法」や「ルール」の意義・役割や、「法」に基づく紛争解決の重要性を理解させる法教育を重視

地域社会では

- ・関係機関による広報啓発活動や保護司を始めとする民間ボランティアによる活動等を通じて、社会の「ルール」を守り、非行に走らないことの大切さを教育
- ・多くの民間企業によるSDGsの達成に向けた活動の実施



日本においては法教育の取組などを通じて法遵守の文化が醸成されている
法の支配が社会にあまねく浸透